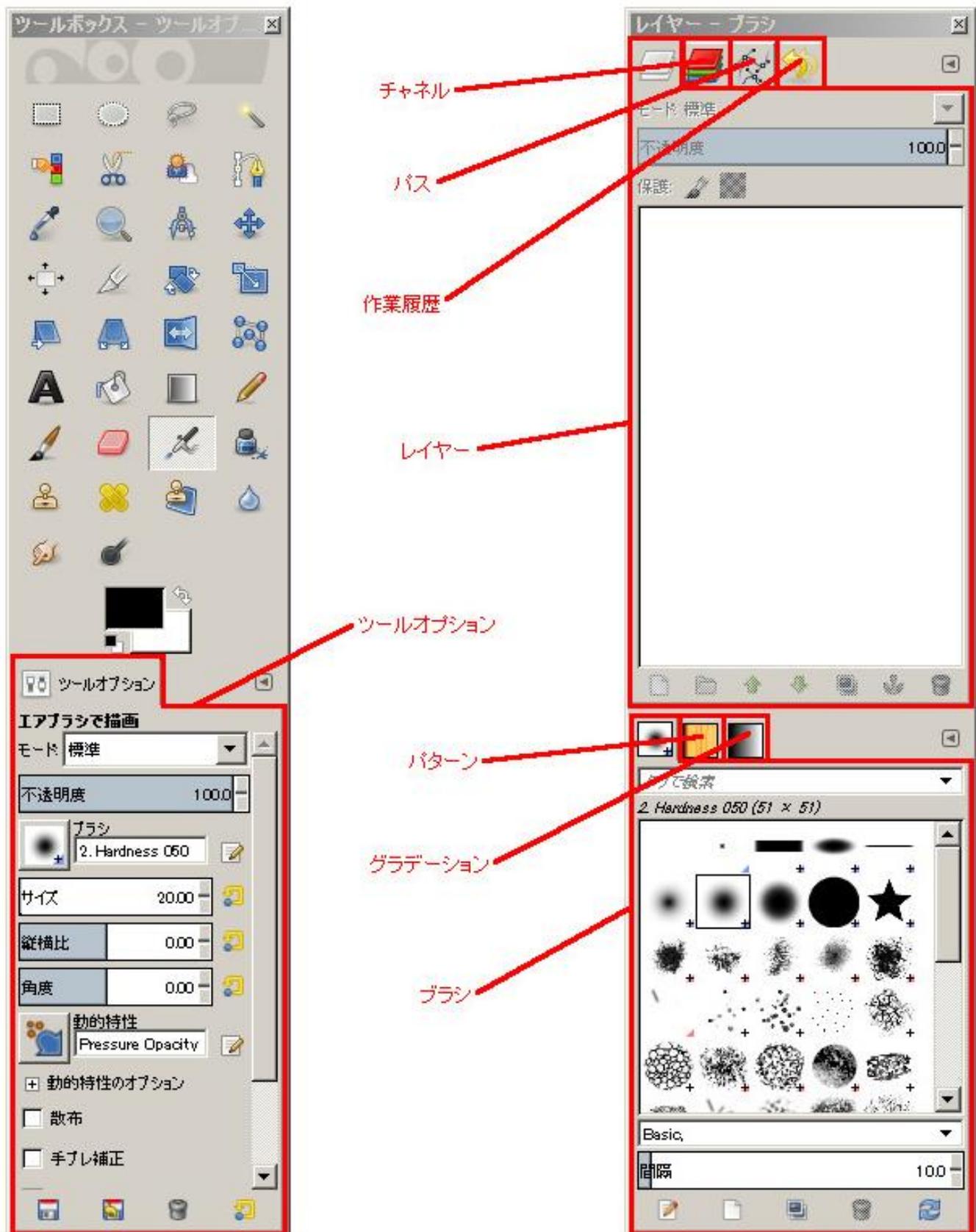


初期状態のダイアログ

初期状態では、GIMP の起動直後は 8 つのダイアログが表示されます。1 つはツールボックスのがぶにあるツールオプション、残りはドック内にあります。

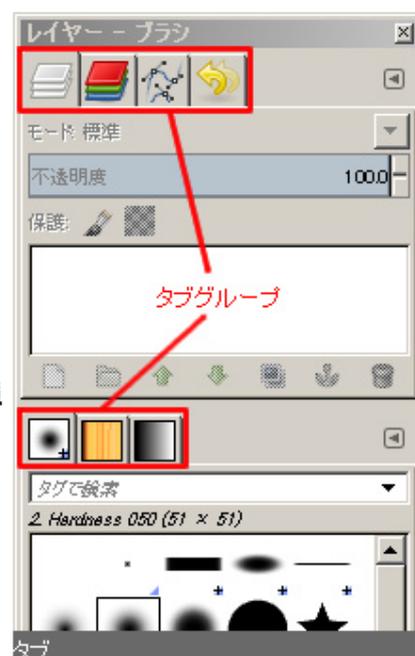


■タブでの切り替え

ダイアログにはタブがあります。ダイアログが重なって配置されている場合は、タブがタブグループとしてまとめられます。

初期状態では、『レイヤー』・『チャンネル』・『パス』・『作業履歴』の4つのダイアログが上部でタブグループとしてまとめられています。同様に、『ブラシ』・『パターン』・『グラデーション』の3つのダイアログが下部に重なって表示されます。

『レイヤー』と『ブラシ』のダイアログは、初期状態で前面に表示されていますが、他のダイアログはタブのみが表示されており本体は背後に隠れています。隠れているダイアログは、**タブをクリックすることで前面に切り替えることができます。**



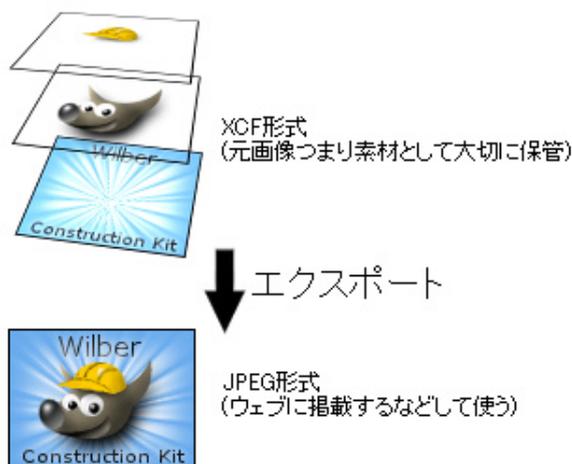
■XCFファイル

XCFファイルはGIMP独自のファイル形式で拡張子は XCF です。

XCFファイルの特徴は、レイヤ・チャンネル・パスのような付加的な情報も保存できることです。

GIMPで画像を扱う場合には、**XCFファイルを元画像として保管**し、配布物はJPEGやPNGとして出力(エクスポート)するのが一般的です。

右図のウィルバー君の画像で例えると、XCFファイルでは帽子とウィルバー君および背景を別レイヤとして管理します。そのXCFファイルを元に、全レイヤの画像を合成してJPEGファイルに出力(エクスポート)します。出力したJPEGファイルはウェブに掲載するなどして利用します。



XCFファイルと他の形式のファイル

ここで、『ウィルバー君の帽子の位置をずらしたい』というような調整が必要になったとします。その場合には、XCFファイルで帽子のレイヤの位置を調整し、XCFファイルとして保存します。そのXCFファイルを元に、全レイヤの画像を合成してJPEGファイルに再度出力(エクスポート)します。

■XCFファイルの保存を心がけよう

レイヤやチャンネル、およびパスの機能を使用して制作した画像は、必ずXCFファイルで保存するようにしましょう。後で修正する必要に迫られた場合には、元画像となるXCFファイルが必要になります。

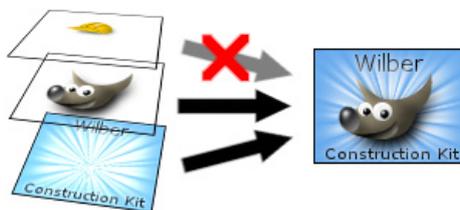
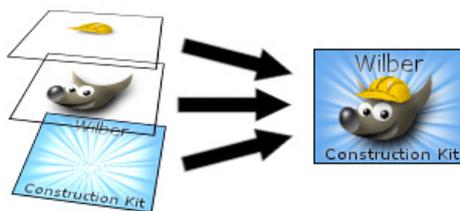
レイヤの例

GIMPのマスコットキャラクターのウィルバー君の画像を例に、レイヤの例を見てみます。なお、この画像は、GIMPのソースファイルに含まれるWilber_Construction_Kit.xcfを加工したものです。

 Wilber_Construction_Kit.xcfはTuomas Kuosmanen氏の作品です。

右図がウィルバー君を例にした、レイヤの説明のための画像です。左側が帽子、ウィルバー君、背景の3つのレイヤを表しており、右側が出力結果を表しています。

**帽子のレイヤのオン・オフを切り替えることで、帽子有り・無し
の2通りの画像の出力を簡単に切り替えることができます。**



レイヤの例

アイコン	ツール名	説明
	矩形選択	ドラッグした範囲内に四角形の選択範囲を作成します。ドラッグ中に {SHIFT} キーを押すと正方形を描くことができます。
	楕円選択	ドラッグした範囲内に円形の選択範囲を作成します。ドラッグ中に {SHIFT} キーを押すと正円を描くことができます。
	自由選択	ドラッグした形に選択範囲を作成します。クリックして2点間を直線で選択することもできます。{SHIFT} キーを押すと選択範囲の線を15度ずつ動かすことができます。
	ファジー選択	クリックした場所の周囲の近似色を判断して選択範囲を作成します。
	色域を選択	クリックしたピクセルの近似色を画像全体から選択します。
	電脳はさみ	クリックして点と点の間、またはドラッグした場所の境界を自動的に検出して、選択範囲を作成します。
	前景抽出選択	画像の任意の範囲内から指定して、さらにその中から近似色の部分を抽出して選択範囲を作成します。
	パス	ベジェ曲線で構成されるパスの作成や編集をします。
	スポイト	クリックした場所の色を描画色や背景色に設定します。
	ズーム	画像ウィンドウの表示倍率を拡大・縮小します。
	定規	2点間の距離と角度を表示します。
	移動	レイヤーや選択範囲などを移動します。
	整列	レイヤーやテキストなどを整列したり並べたりします。

	切り抜き	画像やレイヤーを切り抜きます。
	回転	レイヤーや選択範囲を回転します。
	拡大・縮小	レイヤーや選択範囲の拡大や縮小をします。
	剪断変形	レイヤーや選択範囲を両端の平行を保ちつつ斜めに変形します。
	遠近法	レイヤーや選択範囲にパースを与えて遠近感を出します。
	鏡像反転	レイヤーや選択範囲を上下に反転します。{SHIFT} キーを押すと左右に反転します。
	ケージ変形	ケージで囲んだ部分だけを変形します。
	テキスト	テキストを入力してテキストレイヤーを作成します。
	塗りつぶし	描画色でクリックした場所の近似色や選択範囲が塗りつぶされます。 {CTRL} キーを押すと背景色で塗りつぶされます。
	ブレンド	クリックした場所の近似色や選択範囲がグラデーションで塗りつぶされます。
	鉛筆で描画	クリックやドラッグで境界線のはっきりとした線を描画します。 {SHIFT} キーを押すと直線で描画できます。
	ブラシで描画	クリックやドラッグで境界線のぼけた線を描画します。[ツールオプション] や [ブラシ] ダイアログで描画する線の形を変更できます。
	消しゴム	クリックやドラッグで画像を削除します。[背景] レイヤーでは背景色に塗りつぶし、その他のレイヤーでは透明になります。
	エアブラシで描画	[ブラシで描画] の線をさらにぼかした線を描画します。
	インクで描画	万年筆やGペンのような線を描画します。
	スタンプで描画	コピー元を選択してほかの場所にコピー元の画像で描画します。
	修復ブラシ	コピー元を選択して修正先を周囲になじむようにコピー元の画像で描画します。
	遠近スタンプで描画	選択したコピー元をほかの場所にパースをつけて描画します。
	ぼかし/シャープ	ドラッグした場所をぼかしたりシャープにしたりします。
	にじみ	ドラッグした場所をにじませます。
	暗室	ドラッグした場所の明度を調整します。